

科目名	日本文学演習C（近世文学）	単位数	2単位	対象学年	1年	開講学期	前期
担当者名	藁科 勝之	授業形態		演習			
授業の概要	テーマ：江戸文化と文学と言語表現 江戸文化爛熟の化政期に生まれた作品を読解・鑑賞しつつ、作品とそれを産み出す社会的背景を考察する。 その具体的作品として、化政期の口語を反映する歌舞伎脚本『東海道四谷怪談』をとりあげ、その受容と影響の大きさを考える。						
到達目標	1. 近世文学の流れとジャンルの概要を説明できる。 2. 武士階級、庶民の生活、生き方と心情を把握する。 3. 『東海道四谷怪談』のはらむ現代的課題が理解できる。						
授 業 計 画							
回	主 題	授 業 内 容（授業時間外の学修を含む）				備 考	
第1回	はじめに—近世文学概説	講義の進め方 近世とは—政治史と文学史				講義資料配付（含次回分）。以下同様。	
第2回	上方と江戸	上方文学と江戸文学の流れについて				講義・解説	
第3回	歌舞伎について 鶴屋南北	江戸歌舞伎の発生—作家と作品				講義・解説	
第4回	『東海道四谷怪談』	鶴屋南北の四谷怪談創作				反転学習	
第5回	四谷怪談と忠臣蔵	四谷怪談に取り入れられた忠臣蔵について				講義・解説	
第6回	忠臣蔵と近世文学	赤穂事件とその影響、及び忠臣蔵の発生				反転学習	
第7回	四谷怪談—梗概、人物	四谷怪談のあらすじ、登場人物とその関係				中間レポート 課題提示	
第8回	四谷怪談読解（1）	浅草境内の場（以下、テキストの該当の場を読解する。）				発表、 ディスカッション	
第9回	四谷怪談読解（2）	裏田甫の場				発表、 ディスカッション	
第10回	四谷怪談読解（3）	雑司ヶ谷四谷町の場				発表、 ディスカッション	
第11回	四谷怪談読解（4）	十万坪隠亡堀の場				発表、 ディスカッション	
第12回	四谷怪談読解（5）	深川三角屋敷の場				発表、 ディスカッション	
第13回	四谷怪談読解（6）	小塩田隠れ家の場				発表、 ディスカッション	
第14回	四谷怪談読解（7）	夢の場 蛇山庵室の場				発表、 ディスカッション	
第15回	まとめ	授業の総括				最終レポートの課題提示	
評価方法及び評価基準	3分の2以上の出席を前提として、 (1) 中間レポート…必要な調査、データの収集を適切に行っているか、それらを用いての説明、主張が説得的であるかどうかを総合的に評価する（40%）。 (2) 最終レポート…設定したテーマに即して、必要な先行文献調査を行なっているか、データの収集、処理は適切か、それらを踏まえての説明記述が論理的かどうかを総合的に評価する（60%）。						
教材 教科書 参考書	教科書として、岩波文庫『東海道四谷怪談』ISBN4-00-302131-2を用いる。 参考書、参考文献等は、授業時に随時紹介する。						
留意点	国語辞典、古語辞典、漢和辞典、漢語辞典等の工具書を使いこなすこと。						